

Voice



関心の幅を広げてくれた 出向経験から海外へ

大学と大学院で森林の炭素循環について研究をしていました。ちょうど地球温暖化がクローズアップされ始めた時代で、大学連携の森林を介した炭素収支研究プロジェクトチームの一員として、タイに調査に行ったのが開発途上国との出会いです。

院を終えて環境分野に強い国土環境株式会社に入社しました。当時、海外業務に漠然とした関心はあったものの、目の前の国内業務に従事することで精いっぱいでした。しかし、ある時、海外調査研究プロジェクトの調査団員としてラオスに出張するチャンスに恵まれ、それをきっかけとして海外環境協力分野にも徐々に関わることになりました。また、その後、環境省やOECCへ出向した経験を通じて、それまでにない気付きがあり、関心の幅が広がりました。人の縁を大切にしながらアンテナを張ることで、チャンスは必ずやってくると思います。

井上 彩子さん
海外事業部環境部
主査研究員

海外事業部環境部
主査研究員

環境省出向

一般社団法人
海外環境協力センター
(OECC)に出向

国土環境研究所研究員

国土環境(現いであ)に
入社

東京大学大学院
農学生命科学研究科
森林科学専攻修了

東京大学農学部
森林科学専攻卒業

ASEANの海洋プラスチック ごみ対策を支援

直前まで携わっていたのが、東南アジア諸国連合(ASEAN)の海洋ごみ対策能力強化プロジェクトです。今注目されている海洋プラスチックごみ問題に対するASEAN諸国の取り組みをサポートするもので、国家行動計画の策定、海洋ごみの発生源や実態の調査、廃棄物管理能力の向上などを目的としており、ASEAN事務局との契約の下で取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、調査の成果をASEAN諸国に発表する機会がなくなりましたが、ASEAN事務局からの提案もあり、公表用の冊子をまとめています。

プロジェクトの対象がASEANの全10カ国になるため、最初のアプローチ方法や、海洋プラスチックごみ問題を巡る国際的な動きの速さにとまどうこともありました。調査を進めるうちに自然とネットワークができ、さまざまな情報も得られ、なんとかクリアできました。



ASEAN 海洋プラスチックごみ対策
ワークショップにて

Work



いであ株式会社

創 立：1953年
設 立：1968年
資 本 金：31億7,323万円
従業員数：987人(嘱託・顧問を含む。2020年4月現在)
本 社：東京都世田谷区
海外拠点：英国、インドネシア、フィリピン
海外 R&D センター：IDEA R&D Center(タイ)
グループ会社(海外事業)：株式会社Ides(東京都港区)、以天安(北京)科技有限公司(中国)、中持依迪亞(北京)環境検測分析株式会社(中国)、UAE-IDEA Advance Analytical Company Limited(タイ)
事業分野：社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタント
募集職種：技術職(海外事業部門)
募集人数：若干名(通年)
住 所：〒154-8585
東京都世田谷区駒沢3-15-1
T e l：03-4544-7600(代表)
M a i l：recruit-quay@ideacon.jp
H P：https://ideacon.jp

西表石垣国立公園のサンゴ礁と
自立型無人潜水艇(AUV)

社会基盤整備と
環境分野で総合力を発揮

いであ株式会社は、それぞれ長い歴史を持つ国土環境株式会社と日本建設コンサルタント株式会社が合併し、2006年に誕生した。環境科学のトップコンサルタントとしての技術と建設分野の連携による総合的なアプローチで、付加価値の高いサービスを提供。食品・医療・健康・気象など、人々の健康や生活環境の安全・安心を提供する領域にも事業を展開している。

求めるのは、熱意を持ち
世界に貢献できる人

業界屈指の技術力を基盤に技術開発を推進。サンゴ着床具によるサンゴ礁の再生・創造、2000mまで調査可能な自立型無人潜水艇(AUV)はその一例だ。また、新型コロナウイルス感染症拡大に対応するため、自社研究所を衛生検査所として登録し、検査体制を整備することで、社会的要請に応えている。

求めるのは、熱意を持ち世界に貢献できる人。同社は「海外事業の拡大と海外展開の推進」を中期経営計画の重点課題の一つに掲げ、国内事業部門やグループ会社との連携強化や人材の確保・育成を通じて海外事業の強化を図っている。

求めるのは、技術力を基盤に世界に貢献できる、熱意あふれる人間力のある人。副社長執行役員・海外事業本部長の小宮雅嗣さんは「日本と世界の安定した発展のために、コンサルタントは今以上に努力する必要がある。異なる社会・文化を理解しながら必要な技術を応用し、状況に柔軟に対応し人々に求められるプロジェクトを実施することは、コンサルタントの使命であり力でもある。相手国との友好と信頼関係構築のために活動する」という本来の途上国支援の価値観を共有し、共に世界に貢献したい」と、新人に大きな期待を寄せる。